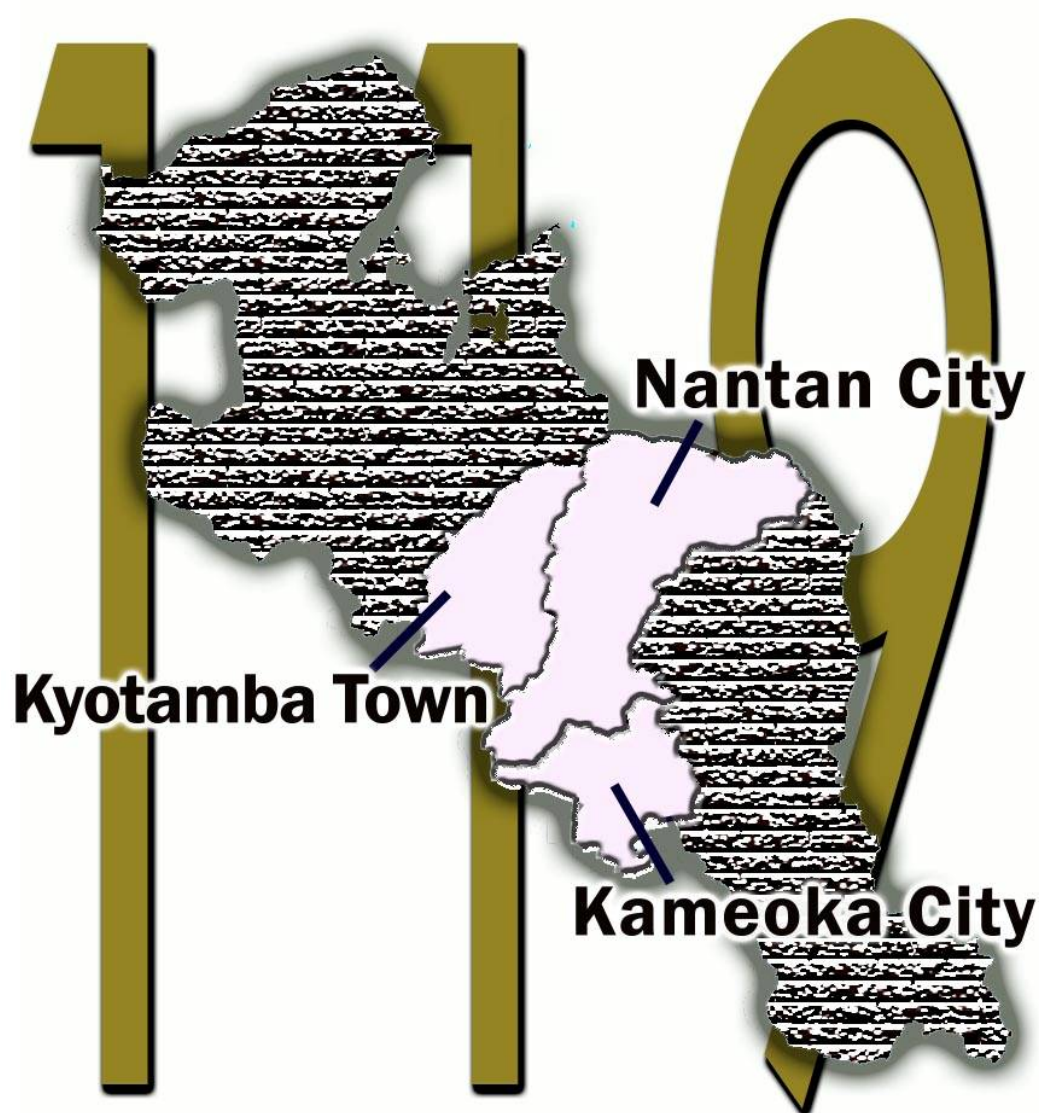


平成23年上半期

火災・救急・救助統計



京都中部広域消防組合

目 次

火災統計の部

1	火災概要	1
2	市町別火災状況	2
3	署所別火災状況	2
4	月別火災状況	3
5	曜日別火災状況	3
6	発生時間別火災状況	4
7	覚知別火災状況	4
8	火元の用途別火災状況	5
9	火災の主な原因	6
10	気象別火災状況	7
11	市町別出動状況	8

救急統計の部

1	救急概要	9
2	市町別救急出動件数	10
3	署所別救急出動件数	11
4	月別救急出動件数	12
5	曜日別救急出動件数	12
6	覚知時間別救急出動件数	13
7	年齢別搬送人員状況	13
8	発生場所別搬送人員状況	14
9	傷病程度別搬送人員状況	14
10	応急処置状況	15

救助統計の部

1	救助出動状況	16
2	事故種別救助出動状況	16
3	市町別救助出動状況	17
4	月別救助出動状況	17

火災統計の部

※（ ）内の数字は前年（平成22年上半期）の数字を表します。

1 発生状況

火災の発生件数は、23件（12件）で前年同期に比べ11件増加し、約8日に1件の火災が発生したことになります。

2 火災種別

火災種別ごとの発生件数は、建物火災が15件（9件）で全体の65.2%（75.0%）を占めており、そのうち住宅火災が8件（4件）で建物火災の53.3%（44.4%）を占めています。車両火災は2件（2件）、その他の火災は4件（1件）で、林野火災は2件（0件）でした。

3 損害状況

焼損棟数は、21棟（11棟）で前年同期に比べ10棟増加しました。

焼損床面積は、1,802㎡（717㎡）で前年に比べ1,085㎡増加し、建物火災1件当たりの焼損床面積は、120.1㎡（79.7㎡）となりました。

損害額の合計は、6,427万円（6,167万4千円）で、このうち建物火災では、1件当たり約425万8千円（680万円）の財産が失われたことになります。

4 死傷者数

火災による死者数は、3人（1人）で前年同期に比べ2人増加し、負傷者は、8人（5人）で前年同期に比べ3人増加しました。

5 出火原因

出火原因は、火災件数23件のうち4件の「放火」及び「放火の疑い」が最も多くなっています。

1. 火災概要

		平成23年上半期	平成22年上半期	増減	
火災件数(件)	建物火災	15	9	6	
	林野火災	2		2	
	車両火災	2	2	0	
	その他火災	4	1	3	
	計	23	12	11	
損害額(千円)	建物火災	63,876	61,203	2,673	
	林野火災	82		82	
	車両火災	311	132	179	
	その他火災	1	339	△ 338	
	計	64,270	61,674	2,596	
焼損面積	建物	床面積(m ²)	1,802	717	1,085
		表面積(m ²)	13		13
	林野(a)	33		33	
	その他(m ²)	36		36	
焼損棟数(棟)	全焼	12	6	6	
	半焼	1	1	0	
	部分焼	2	3	△ 1	
	ぼや	6	1	5	
	計	21	11	10	
り災世帯数(世帯)	全損	3	3	0	
	半損	0			
	小損	6	2	4	
	計	9	5	4	
り災人員(人)		23	15	8	
死傷者(人)	死者	3	1	2	
	負傷者	8	5	3	
1件平均損害額(千円)	建物火災	4,258	6,800	△ 2,542	
	建物火災以外	49	157	△ 108	

※△は、前年との比較において減を表す。(以下同じ)

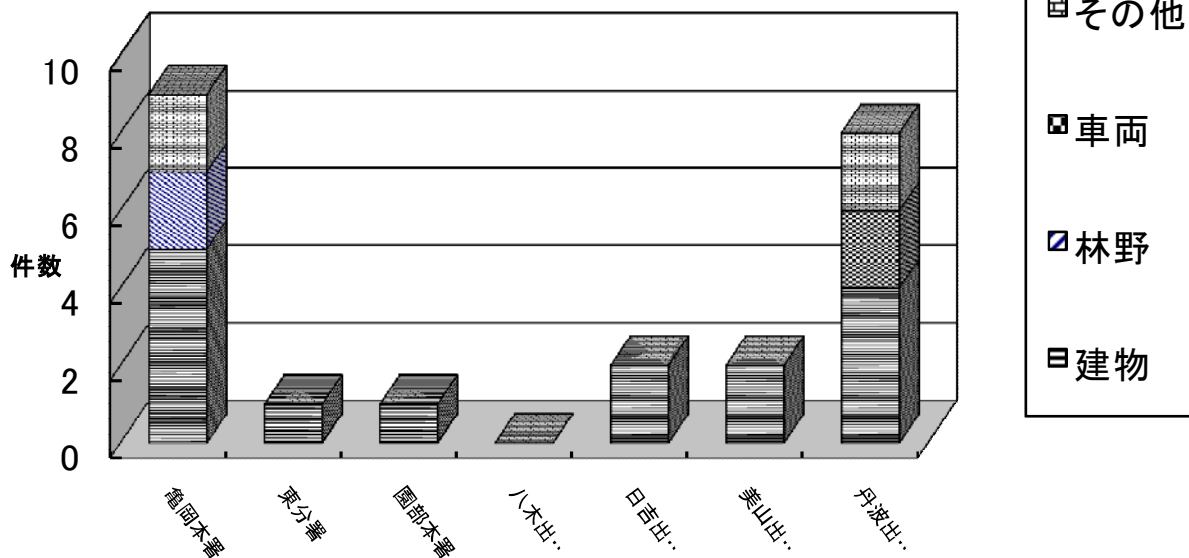
2.市町別火災状況

	火災種別					焼損棟数	り災世帯数	り災人員	死傷者		焼損面積				損害額 (千円)
	建物	林野	車両	その他	計				死者	負傷者	建物床面積 (㎡)	建物表面積 (㎡)	林野 (a)	その他 (㎡)	
亀岡市	6	2		2	10	6	5	13	1	4	91	2	33	9	8,064
南丹市	5				5	8	3	9		2	521	2			20,115
京丹波町	4		2	2	8	7	1	1	2	2	1,190	9		27	36,091
管外															
計	15	2	2	4	23	21	9	23	3	8	1,802	13	33	36	64,270

3.署所別火災状況

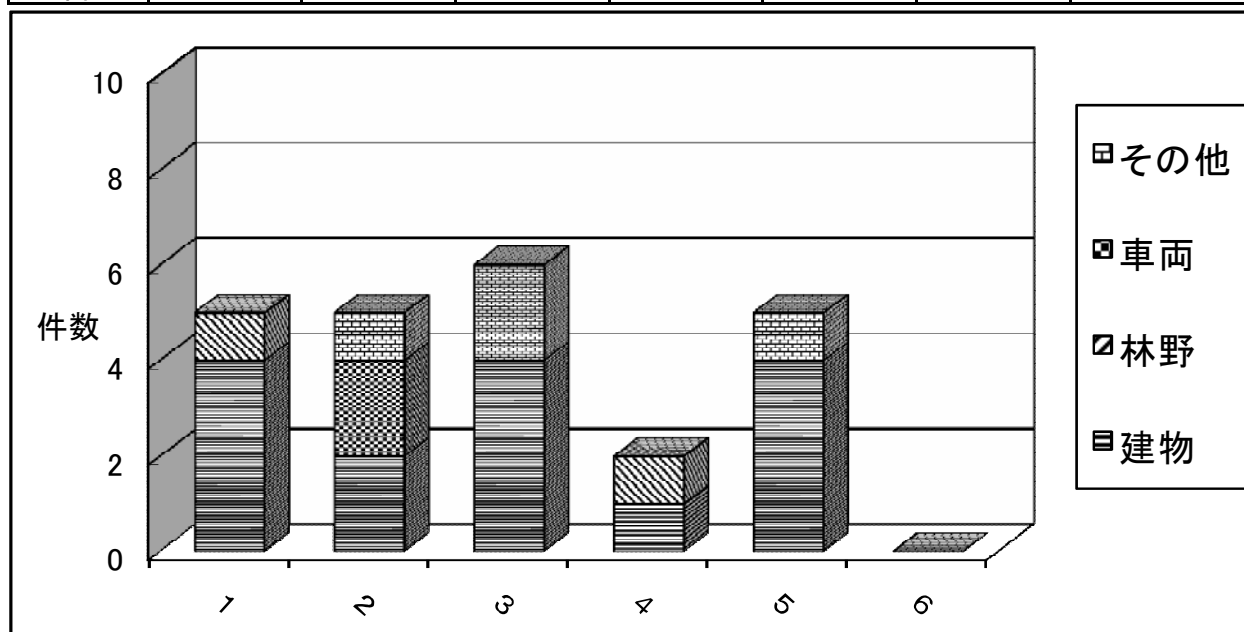
		建物	林野	車両	その他	計
亀岡消防署	本署	5	2		2	9
	東分署	1				1
園部消防署	本署	1				1
	八木出張所					
	日吉出張所	2				2
	美山出張所	2				2
	丹波出張所	4		2	2	8
計		15	2	2	4	23

署所別火災発生状況



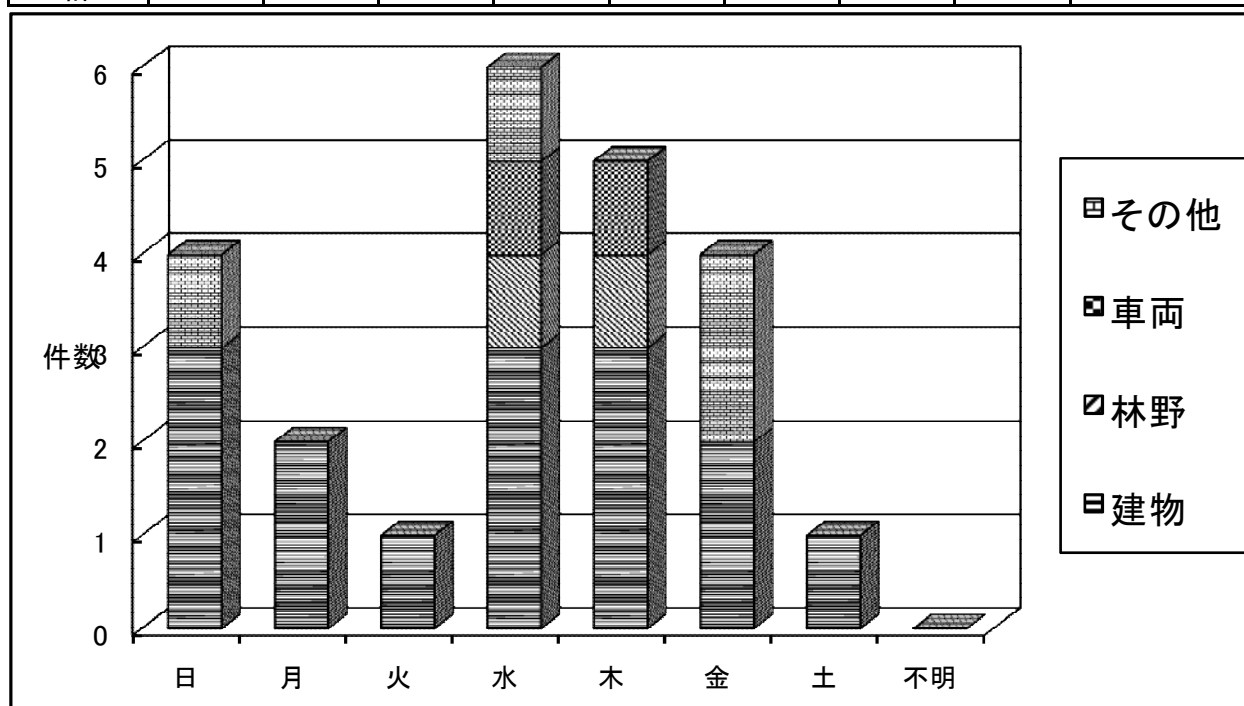
4. 月別火災状況

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	計
建物	4	2	4	1	4		15
林野	1			1			2
車両		2					2
その他		1	2		1		4
計	5	5	6	2	5		23



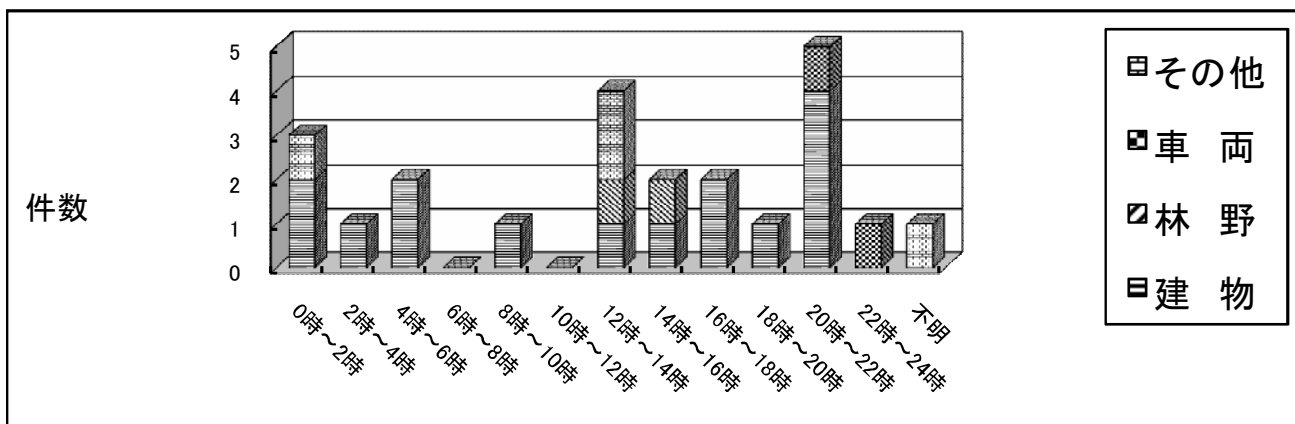
5. 曜日別火災状況

	日	月	火	水	木	金	土	不明	計
建物	3	2	1	3	3	2	1		15
林野				1	1				2
車両				1	1				2
その他	1			1		2			4
計	4	2	1	6	5	4	1		23



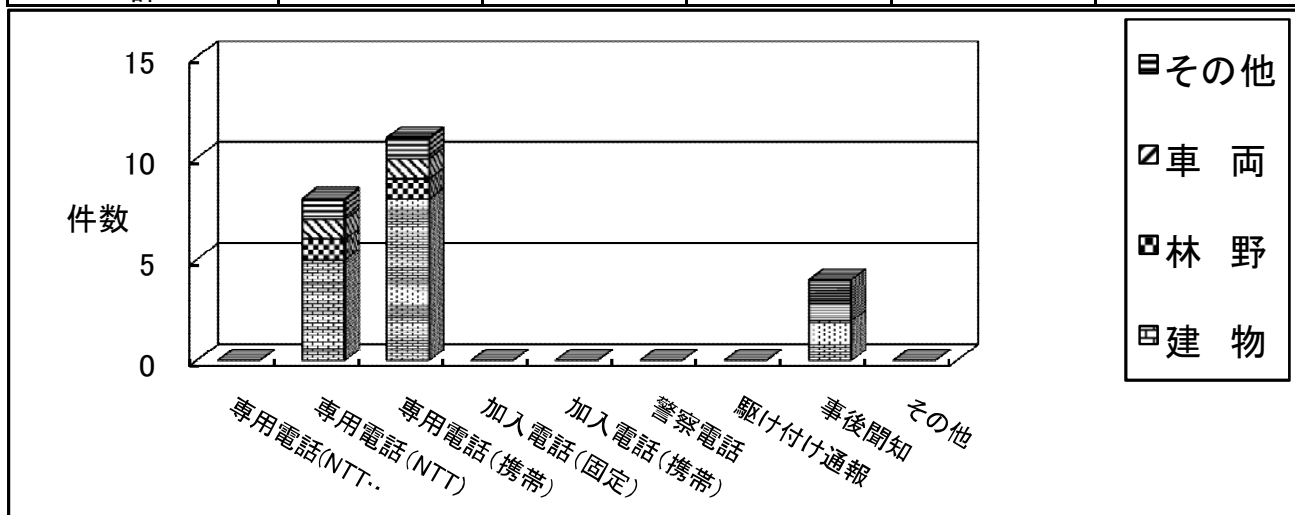
6. 発生時間別火災状況

	建物	林野	車両	その他	計
0時～2時	2			1	3
2時～4時	1				1
4時～6時	2				2
6時～8時					
8時～10時	1				1
10時～12時					
12時～14時	1	1		2	4
14時～16時	1	1			2
16時～18時	2				2
18時～20時	1				1
20時～22時	4		1		5
22時～24時			1		1
不明				1	1
計	15	2	2	4	23



7. 覚知別火災状況

	建物	林野	車両	その他	計
専用電話(NTTを除く)					
専用電話(NTT)	5	1	1	1	8
専用電話(携帯)	8	1	1	1	11
加入電話(固定)					
加入電話(携帯)					
警察電話					
駆け付け通報					
事後間知	2			2	4
その他					
計	15	2	2	4	23



8. 火元の用途別火災状況

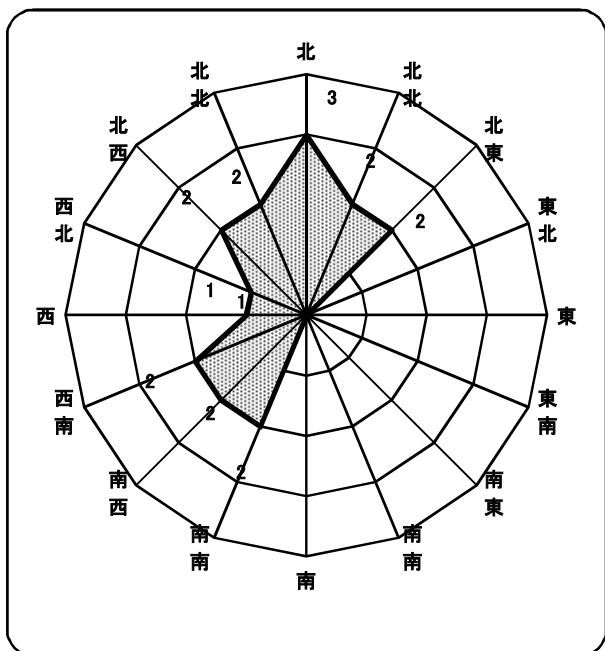
			件数	焼損面積		損害額(千円)
建 物	居住 専用	住 宅	8	床面積	617 m ²	36,826
				表面積	1 m ²	
	産業用	事 務 所	1	床面積	7 m ²	175
				表面積	m ²	
		工 場	1	床面積	662 m ²	19,990
				表面積	m ²	
		倉 庫	2	床面積	229 m ²	5,003
				表面積	m ²	
	納 屋	2	床面積	148 m ²	1,750	
			表面積	m ²		
物 置	1	床面積	41 m ²	132		
		表面積	m ²			
延焼によるもの			/	棟数	5 棟	火元損害額に含まれる
				床面積	98 m ²	
				表面積	12 m ²	
合 計			15	床面積	1,802 m ²	63,876
				表面積	13 m ²	
林 野	普 通 林		1	24 a		63
	人 工 林		1	9 a		19
	延焼によるもの		/	a		火元損害額に含まれる
	合 計		2	33 a		82
車 両	乗 用 車		2	2 台		311
	延焼によるもの		/	2 台		火元損害額に含まれる
	合 計		2	4 台		311
そ の 他	道 路		1	2,700 m ²		
	河 川 敷		1			
	栗 畑 内		1			
	ご み 箱		1			1
	延焼によるもの		/	9 m ²		火元損害額に含まれる
	合 計		4	2,709 m ²		1

9. 火災の主な原因

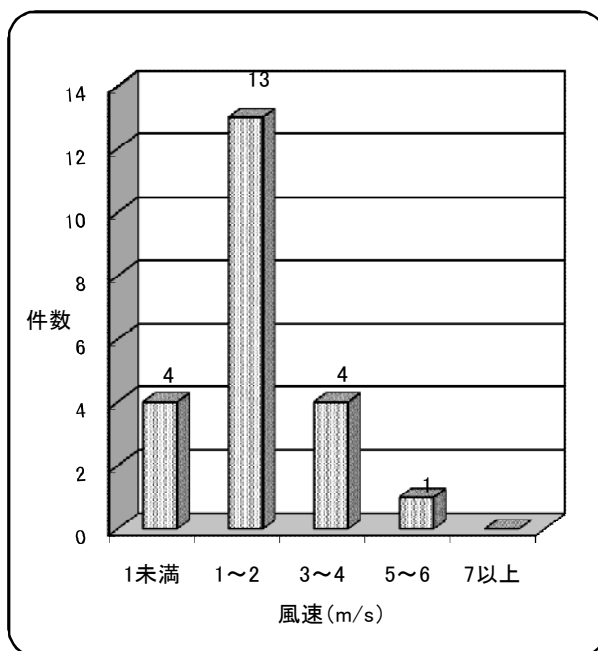
市 町 別	亀 岡 市				南 丹 市				京 丹 波 町				計				合 計
	建 物	林 野	車 両	そ の 他	建 物	林 野	車 両	そ の 他	建 物	林 野	車 両	そ の 他	建 物	林 野	車 両	そ の 他	
たばこ	2												2				2
こんろ	2												2				2
排気管											1				1		1
たき火		2												2			2
灯火					1								1				1
取灰								1					1				1
火入れ											1					1	1
放火				2								1				3	3
放火の疑い											1				1		1
その他					1								1				1
不明・調査中	2				3			3					8				8
計	6	2		2	5			4		2	2	15	2	2	4		23

10. 気象別火災状況

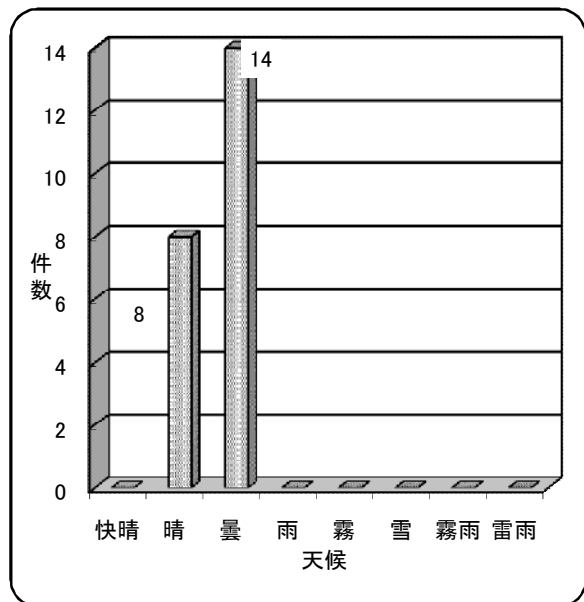
(1) 風向別(無風3件、不明1件を除く)



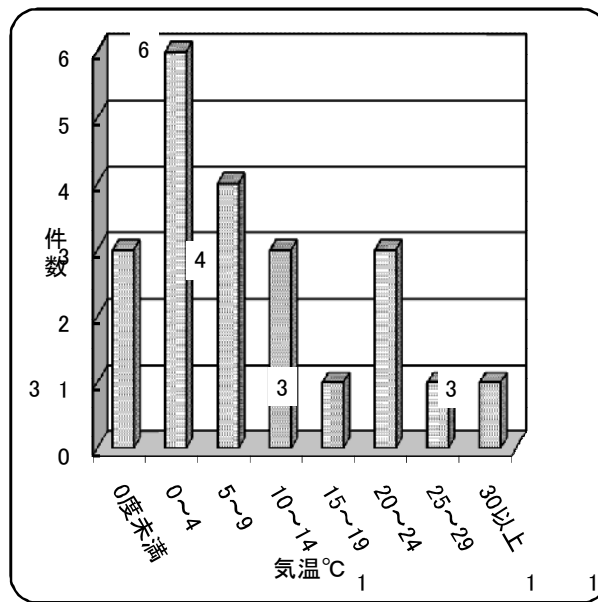
(2) 風速別(不明1件を除く)



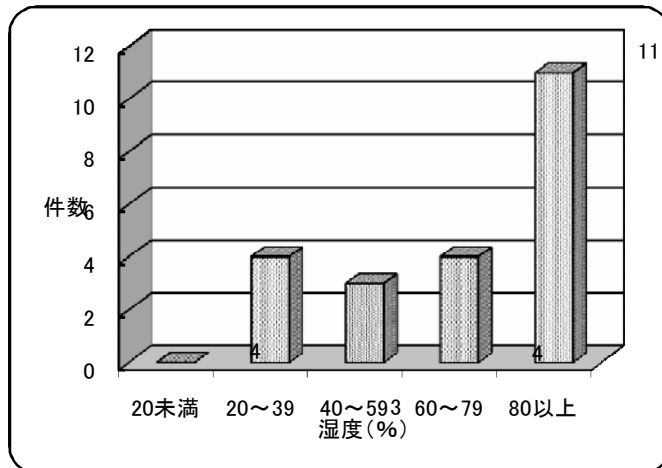
(3) 天候別(不明1件を除く)



(4) 気温別(不明1件を除く)



(5) 相対湿度別(不明1件を除く)



11. 市町別出動状況

		亀岡市	南丹市	京丹波町	管外	合計	
火災事件	建物	6	5	4		15	
	林野	2				2	
	車両			2		2	
	その他	2		2		4	
	計	10	5	8		23	
消防事故	無損事故	建物	3	2			5
		林野	5	2			7
		車両	3				3
		その他	13	1	3		17
		小計	24	5	3		32
	破裂事故	1				1	
	漏洩流出事故	7	4	5		16	
	電気事故		1			1	
	燃烧放置事故	4	2			6	
	発報事故	7	8	5	1	21	
	計	43	20	13	1	77	
その他出動	水防	2	1			3	
	捜索	2	1			3	
	警備	8	2		2	12	
	救急支援	19	4	2		25	
	その他の出動	1				1	
	計	32	8	2	2	44	

救急統計の部

※（ ）内の数字は前年（平成22年上半期）の数字を表します。

1 出動件数及び搬送人員

出動件数は、2,786件（2,552件）で1日平均約15.4回（14.1回）出動しており、前年同期に比べ234件増加しています。

搬送人員も2,683人（2,477人）で前年同期に比べ206人増加しました。

2 事故種別

事故種別ごとの出動件数は、急病が1,768件（1,655件）で全出動件数の63.5%（64.9%）を占めました。以下、一般負傷が401件（342件）で14.4%（13.4%）、交通事故が340件（305件）で12.2%（12.0%）、火災が7件（4件）でした。

急病で113件、一般負傷で59件、交通事故で35件増加しています。

3 年齢別

年齢別の搬送人員は、高齢者〈65歳以上〉が1,498人（1,386人）で搬送人員総数の55.8%（56.0%）を占めました。以下、成人〈18歳～64歳〉が949人（885人）で35.4%（35.7%）、少年・乳幼児・新生児〈18歳未満〉が236人（206人）で8.8%（8.3%）でした。

（高齢者の急病による搬送は、1,065人（995人）で、高齢者の搬送人員総数の71.1%（71.8%）を占めています。）

4 傷病程度別

傷病程度別の搬送人員は、軽症が1,424人（1,267人）と最も多く、全体の53.1%（51.1%）を占め、次いで中等症が866人（790人）で32.3%（31.9%）、重症が325人（364人）で12.1%（14.7%）、死亡が66人（56人）で2.5%（2.3%）となっています。

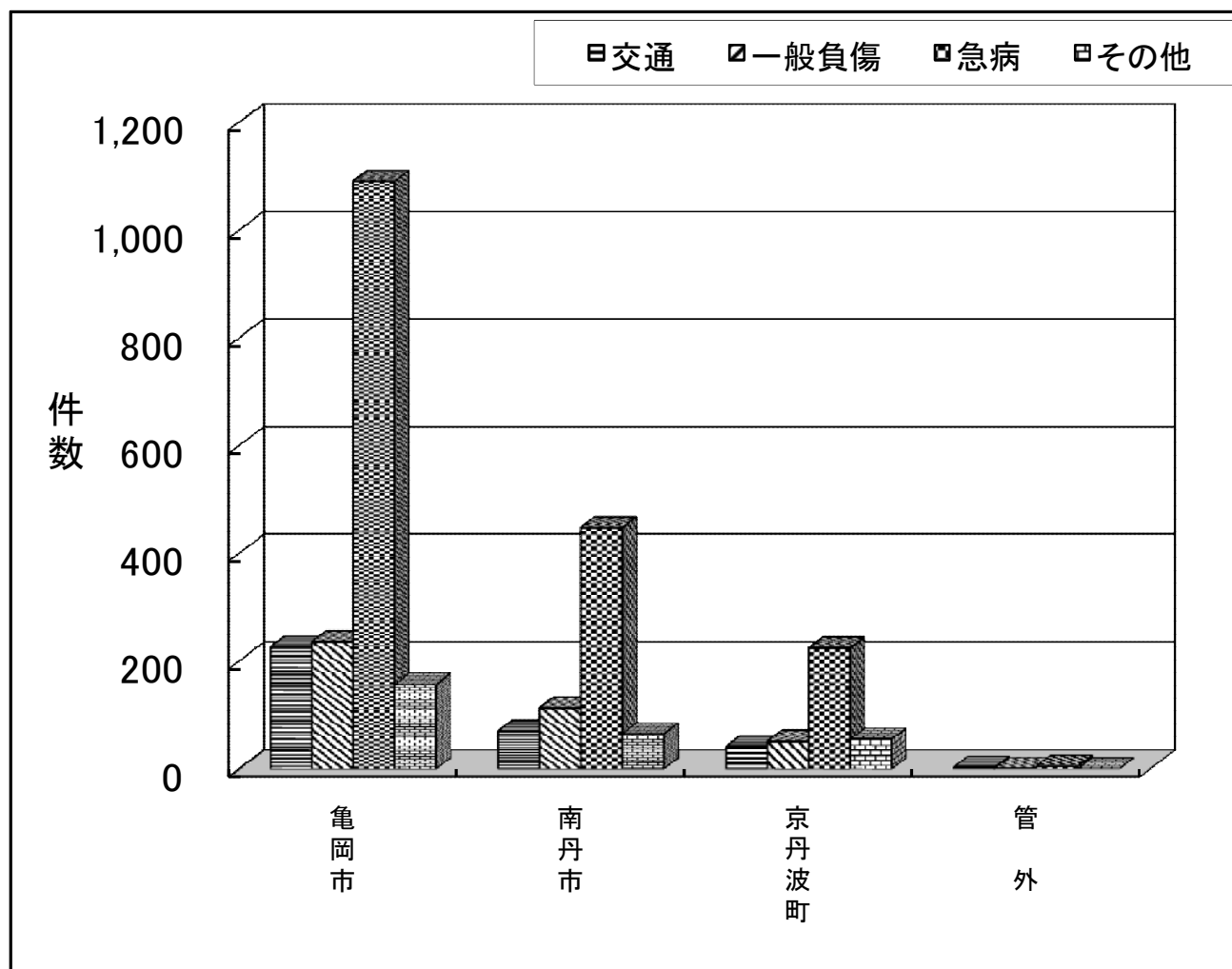
1. 救急概要

		平成23年上半期	平成22年上半期	増減
出 動 件 数		2,786	2,552	234
搬 送 人 員		2,683	2,477	206
不 取 扱 い		142	118	24
事 故 種 別 出 動 件 数	火 災	7	4	3
	自 然 災 害			
	水 難	1		1
	交 通	340	305	35
	労 働 災 害	25	28	△ 3
	運 動 競 技	20	27	△ 7
	一 般 負 傷	401	342	59
	加 害	14	7	7
	自 損 行 為	37	40	△ 3
	急 病	1,768	1,655	113
そ の 他	転 院 搬 送	172	142	30
	医 師 搬 送			
	資 機 材 等 輸 送			
	そ の 他	1	2	△ 1
1 日 平 均 出 動 件 数 (件)		15.4	14.1	1.3
1 日 平 均 搬 送 人 員 (人)		14.8	13.7	1.1

※△は、前年との比較において減を表す。(以下同じ)

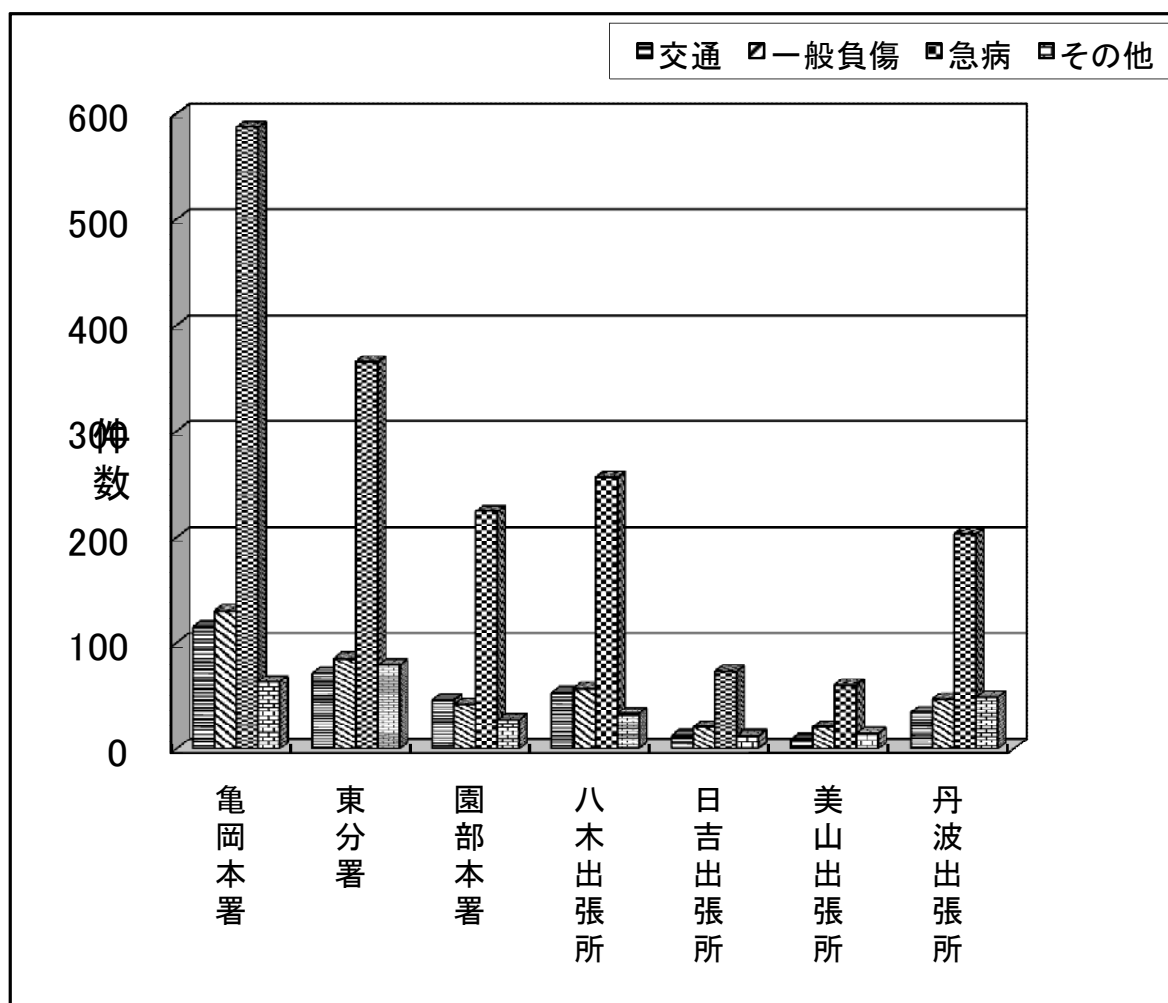
2. 市町別救急出動件数

	交通	一般負傷	急病	その他	計
亀岡市	226	236	1,091	157	1,710
南丹市	70	113	448	65	696
京丹波町	41	51	224	55	371
管外	3	1	5		9
計	340	401	1,768	277	2,786



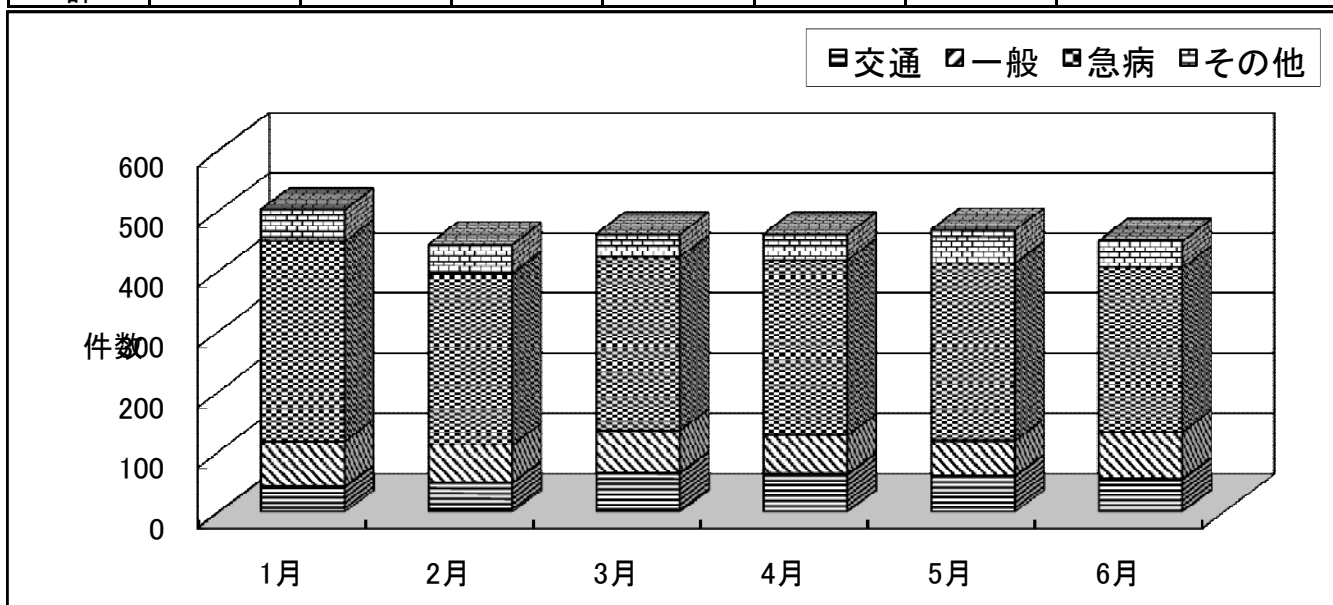
3. 署所別救急出動件数

		交通	一般負傷	急病	その他	計
亀岡消防署	亀岡本署	115	130	587	63	895
	東分署	71	85	365	79	600
	小計	186	215	952	142	1,495
園部消防署	園部本署	46	42	224	27	339
	八木出張所	53	57	256	33	399
	日吉出張所	12	20	73	12	117
	美山出張所	9	20	60	14	103
	丹波出張所	34	47	203	49	333
	小計	154	186	816	135	1,291
合計		340	401	1,768	277	2,786



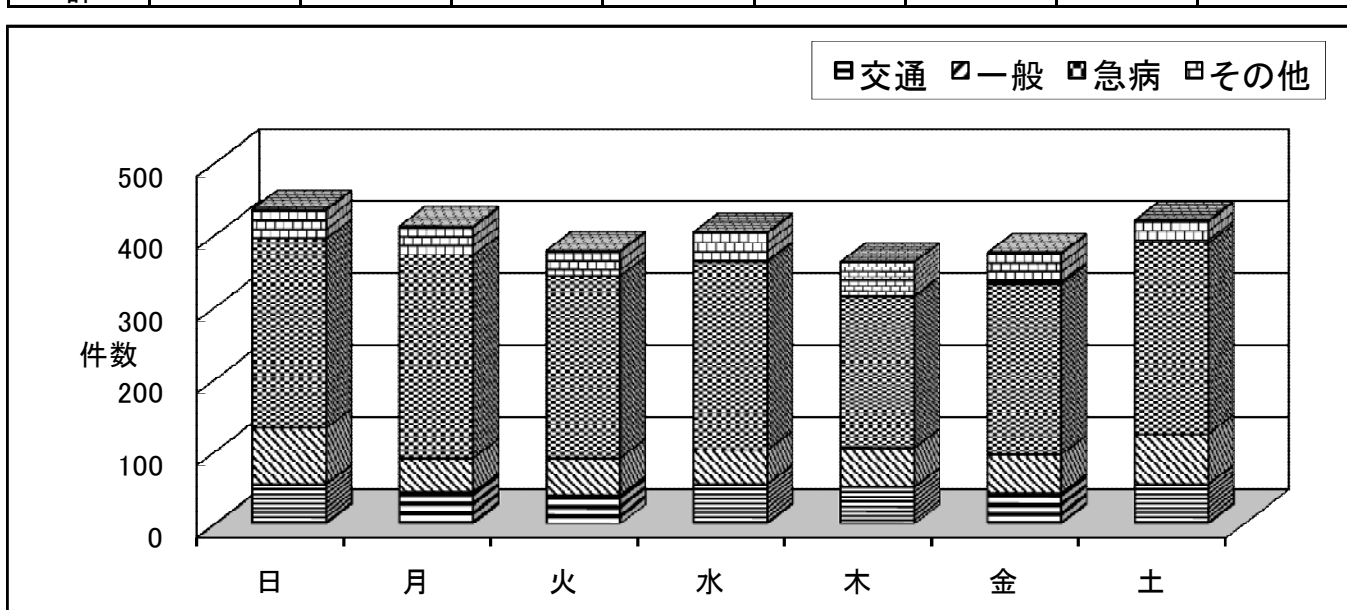
4. 月別救急出動件数

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	計
交通	43	50	66	64	61	56	340
一般負傷	74	61	69	63	57	77	401
急病	333	285	289	292	295	274	1,768
その他	52	48	37	42	55	43	277
計	502	444	461	461	468	450	2,786



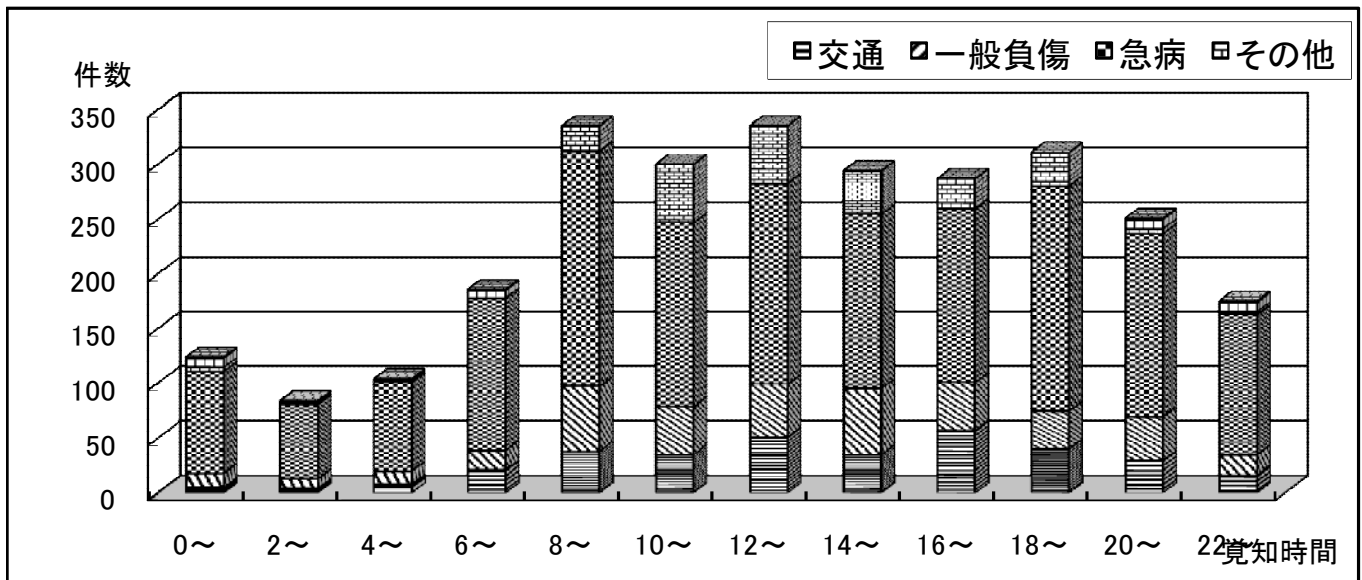
5. 曜日別救急出動件数

	日	月	火	水	木	金	土	計
交通	55	43	39	55	51	42	55	340
一般負傷	77	48	52	47	54	54	69	401
急病	263	281	252	261	210	236	265	1,768
その他	40	40	35	41	47	43	31	277
計	435	412	378	404	362	375	420	2,786



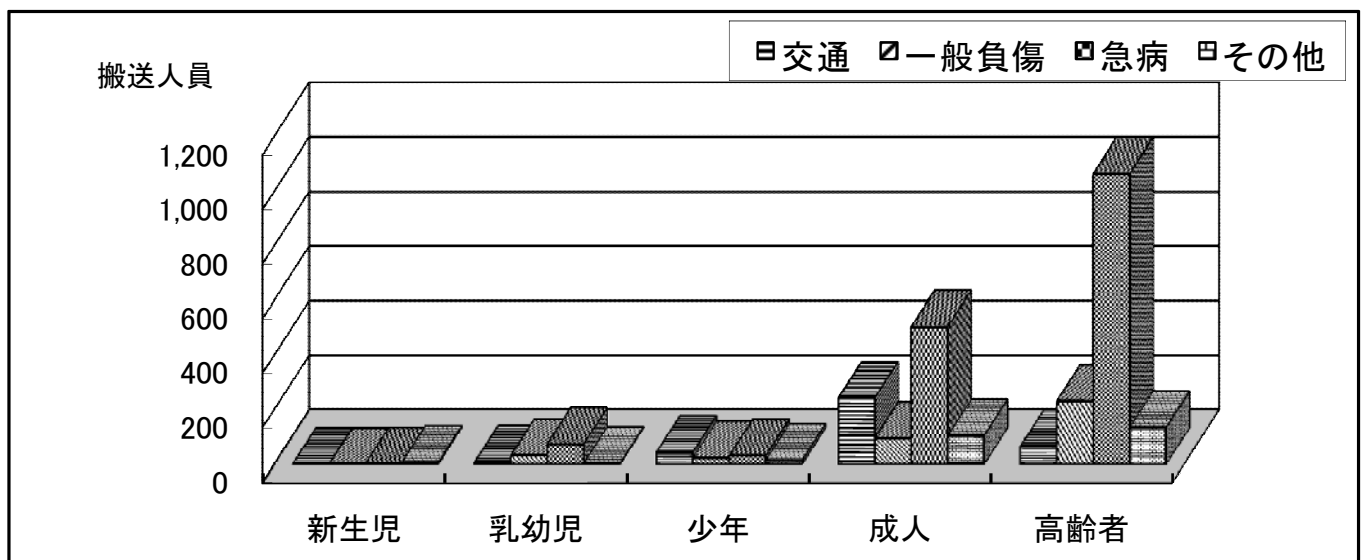
6. 覚知時間別救急出動件数

	0～	2～	4～	6～	8～	10～	12～	14～	16～	18～	20～	22～	計
交通	5	4	8	21	38	35	51	35	57	40	30	16	340
一般負傷	13	9	12	18	59	44	48	60	44	35	40	19	401
急病	93	68	81	139	215	168	184	160	159	206	167	128	1,768
その他	13	3	3	8	23	53	52	39	27	30	14	12	277
計	124	84	104	186	335	300	335	294	287	311	251	175	2,786



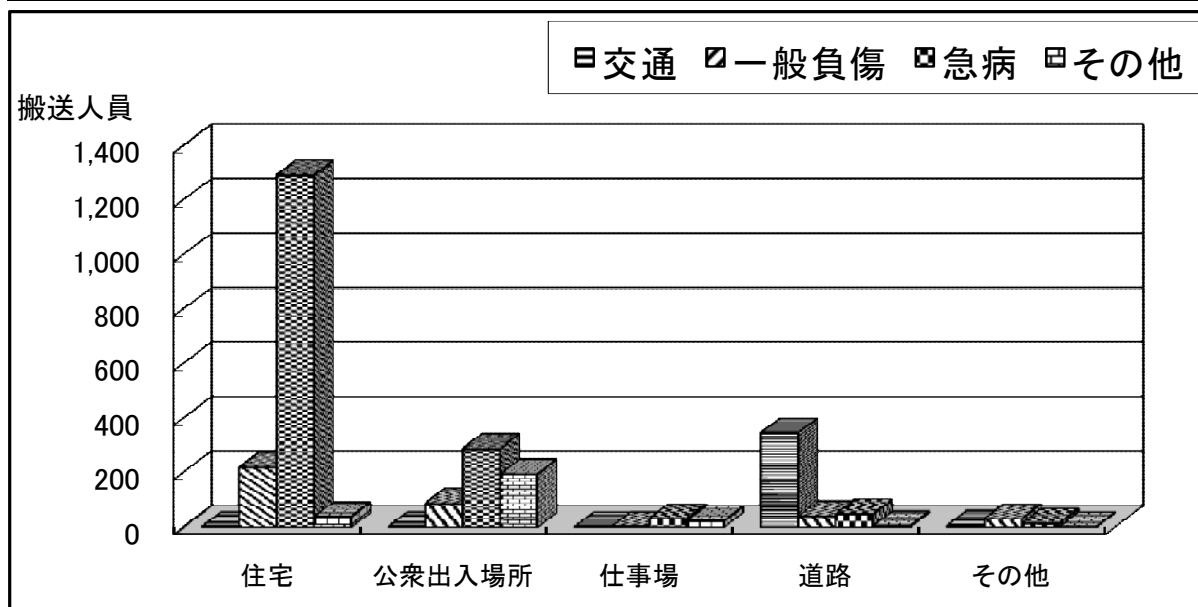
7. 年齢別搬送人員状況

	新生児 (28日以内)	乳幼児 (7歳未満)	少年 (18歳未満)	成人 (65歳未満)	高齢者 (65歳以上)	計
交通		7	44	244	66	361
一般負傷		32	24	95	232	383
急病	1	74	31	505	1,065	1,676
その他	6	3	14	105	135	263
計	7	116	113	949	1,498	2,683



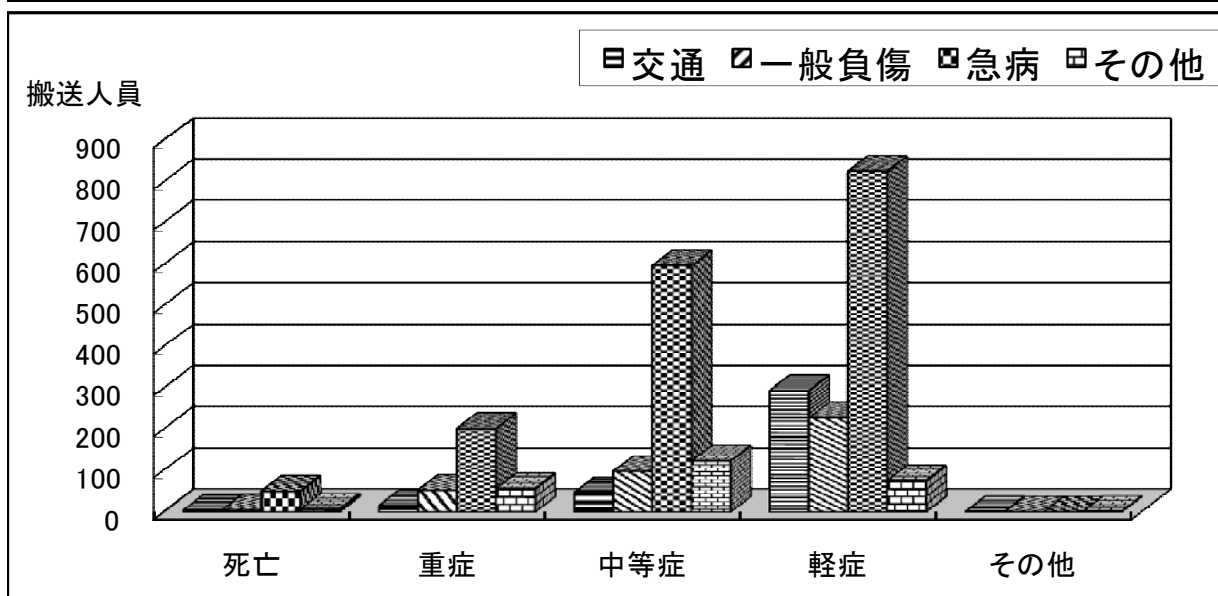
8. 発生場所別搬送人員状況

	住 宅	公衆出入場所	仕事場	道 路	そ の 他	計
交 通	3	3	2	346	7	361
一般負傷	219	88	3	41	32	383
急 病	1,293	288	32	48	15	1,676
そ の 他	39	194	23	5	2	263
計	1,554	573	60	440	56	2,683



9. 傷病程度別搬送人員状況

	死 亡	重 症	中等症	軽 症	そ の 他	計
交 通	4	15	46	295	1	361
一般負傷	5	52	98	228		383
急 病	50	202	598	826		1,676
そ の 他	7	56	124	75	1	263
計	66	325	866	1,424	2	2,683



10. 応急処置状況

事故種別 応急処置	交 通	一般負傷	急 病	そ の 他	計
処 置 対 象 人 員	360	382	1,676	263	2,681
止 血	21	34	10	7	72
固 定	77	60	16	16	169
人 工 呼 吸			1	1	2
心 臓 マ ッ サ ー ジ					
心 肺 蘇 生	3	7	50	5	65
酸 素 吸 入	21	33	534	92	680
気 道 確 保	3	8	72	7	140
特 定 行 為	1	5	40	4	50
気 管 挿 管	1	2	7	1	11
保 温	116	212	1,228	189	1,745
被 覆	85	110	13	27	235
在 宅 療 法 継 続			11		11
除 細 動			1		1
静 脈 路 確 保		2	27	2	31
薬 剤 投 与		1	7		8
そ の 他 の 応 急 処 置	6	13	38	8	65
血 圧 測 定	355	358	1,607	250	2,570
聴診器による心音等聴取	62	34	414	54	564
血中酸素飽和度の測定	358	376	1,636	257	2,627
心 電 図 測 定	48	103	1,289	150	1,590
計	1,155	1,351	6,954	1,065	10,525

救助統計の部

※（ ）内の数字は前年（平成22年上半期）の数字を表します。

1 出動件数及び救助人員

出動件数は、44件（30件）で前年に比べ14件増加しており、救助人員は、25人（14人）で11人増加しています。

2 事故種別

事故種別は、交通事故が31件（18件）で全出動件数の70.5%（60.0%）を占めています。

※ 救助統計の事故種別は、次により区分しています。

- 1 火災
火災現場において、直接火災に起因して生じた事故をいう。
- 2 交通事故
すべての交通機関相互の衝突及び接触又は単一事故若しくは歩行者等が交通機関に接触した等による事故をいう。
- 3 水難事故
水泳中の溺者又は水中転落等による事故をいう。
- 4 自然災害事故
暴風、豪雨、豪雪、洪水、高潮、地震、津波、噴火、雪崩、地すべりその他の異常な自然現象に起因する災害による事故をいう。
- 5 機械による事故
エレベーター、プレス機械、ベルトコンベアー、その他の建設機械、工作機械等による事故をいう。
- 6 建物等による事故
建物、門、柵、へい等建物に付帯する施設又はこれらに類する工作物の倒壊による事故、建物等内に閉じ込められる事故、建物等に挟まれる事故等をいう。
- 7 ガス及び酸欠事故
一酸化中毒その他の中毒事故、酸素欠乏による事故等をいう。
- 8 破裂事故
火災以外のボイラー、ポンペ等の物理的破裂による事故をいう。
- 9 その他の事故
1から8に掲げる事故以外の事故で、救助を必要としたものをいう。

1. 救助出動状況

区分		年別	平成23年 上半期	平成22年 上半期	増減
出動件数（件）			44	30	14
救助人員（人）			25	14	11
事故種別 出動 件数 (件)	火災				
	交通事故		31	18	13
	水難事故		1		1
	自然災害事故				
	機械による事故		1	1	
	建物等による事故		2	2	
	ガス及び酸欠事故			1	△ 1
	破裂事故				
その他の事故		9	8	1	

※ △は、前年との比較において減を表す。

2. 事故種別救助出動状況

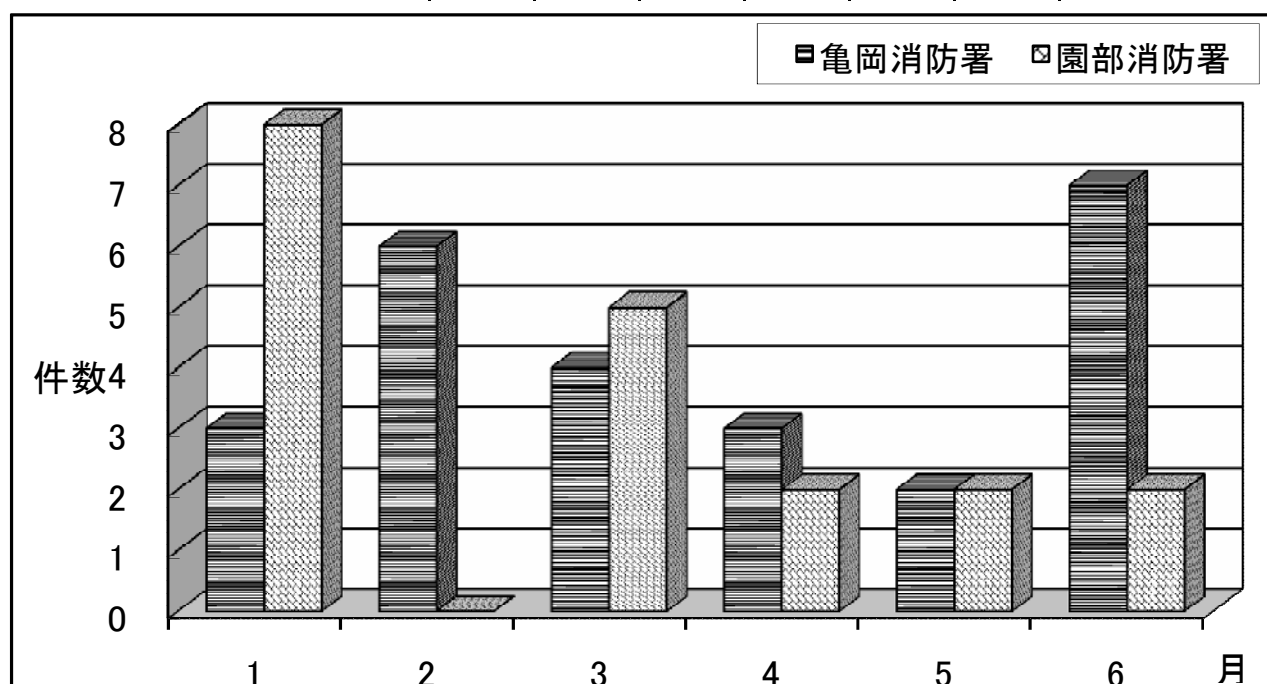
署別		事故種別	火 災	交 通 事 故	水 難 事 故	自 然 災 害 事 故	機 械 に よ る 事 故	建 物 等 に よ る 事 故	ガ ス 及 び 酸 欠 事 故	破 裂 事 故	そ の 他 の 事 故	計
亀岡 消防署	出動件数			17	1		1	1			5	25
	救助人員			12	1		1				4	18
園部 消防署	出動件数			14				1			4	19
	救助人員			4				1			2	7
計	出動件数			31	1		1	2			9	44
	救助人員			16	1		1	1			6	25

3. 市町別救助出動状況

市町名	事故種別									
	火災	交通事故	水難事故	自然災害事故	機械による事故	建物等による事故	ガス及び酸欠事故	破裂事故	その他の事故	計
亀岡市		20	1		1	1			6	29
南丹市		5				1			3	9
京丹波町		6								6
管外										
計		31	1		1	2			9	44

4. 月別救助出動状況

署別	月別							計
	1月	2月	3月	4月	5月	6月		
亀岡消防署	3	6	4	3	2	7	25	
園部消防署	8		5	2	2	2	19	
計	11	6	9	5	4	9	44	



【平成23年度全国统一防火標語】

消したはず 決めつけしないで もう一度

京都中部広域消防組合

会計課 0771-22-9580
〒621-0851
京都府亀岡市荒塚町1丁目9番1号

消防本部
〒621-0851
京都府亀岡市荒塚町1丁目9番1号

亀岡消防署
〒621-0851
京都府亀岡市荒塚町1丁目9番1号

予防課庶務係 0771-22-0119

予防課予防係 0771-22-9583

警防課 0771-22-9584

東分署 0771-23-0119

総務課 0771-22-9580
消防課 0771-22-9581
指令課 0771-22-9582

園部消防署
〒622-0011
京都府南丹市園部町上木崎町大將軍19番地2

予防課・警防課 0771-62-0119

八木出張所 0771-42-3119

日吉出張所 0771-74-0119

美山出張所 0771-75-0119

丹波出張所 0771-82-0119